

担い手への農地利用の集積・集約化及び新規参入の促進

農委会名：菊池市農業委員会

1 地域の概要

菊池市は平成17年3月に4市町村（菊池市・七城町・旭志村・泗水町）が合併してできた「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」である。

熊本県の北東部に位置し、豊かな水資源と肥沃な大地を生かした農林畜産業を基幹産業としており、特に畜産業においては全国有数の算出額を誇っている。

また菊池米・水田ごぼう・イチゴ・メロンなどの農産物も豊富にあり、市独自の安全・安心を示す「菊池基準」を設け、農林畜産物をインターネットショップ（菊池まるごと市場）により、全国に発信、販売している。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 19人（うち、認定13人、女性5人）
- (2) 推進委員数 30人（うち、認定16人）
- (3) 事務局体制 4人（専任）

3 掲げた目標

- (1) 担い手への農地利用の集積・集約化
 - 集積面積／3,330ha
- (2) 新規参入の促進
 - 参入者数／10経営体

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

- (1) 担い手への農地利用の集積・集約化
 - 経営の廃止・縮小を希望する農業者が所有する農地や利用権設定期間が満了する農地等をリスト化し、それを基に担当地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員による受け手へのマッチングを実施した。
 - 区画・形状・作業効率等の条件面から受け手を見つけ難い中山間地域の農地については、簡易な基盤整備事業の活用と併せて集落営農の組織化・法人化を推進するなど、地域の実情に応じた取組みを行った。
- (2) 新規参入の促進
 - 熊本県新規就農支援センターや市農政課、JA等の関係機関・団体と連携しながら新規就農希望者向けの相談会を開催するとともに、担当地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員による個別相談・農地情報の提供等を行った。

5 取組みの成果

- (1) 担い手への農地利用の集積・集約化
 - 新規集積面積が80haあったものの、全体の集積面積は3,237haとなり、目標

達成率は97.2%であった。

(2) 新規参入の促進

- 新規参入者は6経営体で、目標達成率は60%であった。

6 課題と今後の方針等

(1) 担い手への農地利用の集積・集約化

- 農地利用に係る意向把握・地図による現況把握（耕作状況の見える化）・農地利用の方針策定（中心経営体への農地集積）等、「人・農地プラン」の実質化に向けた様々な活動へ農業委員・農地利用最適化推進委員が積極的に関与することによって、最終目標である「集積率80%」の達成を目指す。

(2) 新規参入の促進

- 関係機関・団体との連携を図りながら、引き続き新規就農希望者の受入体制の強化に努めるとともに、農地・資金・営農技術等就農後のフォローアップにも注力することによって、次代の担い手の育成・確保につなげていく。